

阿弥陀如来

當山のご本尊は阿弥陀如来であり、本堂内陣の中央、須弥壇上にある宮殿の中にいらっしやる。では、阿弥陀如来とはどのような仏なのであろうか。

・名前について

「阿弥陀」とは梵語「アミリタ（タ）」の音訳である。「無量」「無限」という意味を表す。では、何が無量であり無限なのだろうか。それは「寿命」と「光明」であると伝統的に解釈されてきた。よって、阿弥陀如来を「無量寿」または「無量光」とも別称する。つまり、阿弥陀如来という名前から、尽きることの無い寿命と、永遠に失われることがない光明をもつ仏様であることが分かる。

・お姿について

まず、當山の阿弥陀如来は座像である。そして臍の前で両手を上げ重ねて印（みだのじょういん 弥陀定印）を結んだ姿である。これは禅定に入っている姿であり、まさに真理が体中に満ち満ちている状況を表している。阿弥陀如来は色々な姿で表現されることが多い仏様であるが、「みだのじょういん 弥陀定印」を結んでいる姿は実に密教的であるといえる。何故なら、密教では真理を獲得する為の方法として、瞑想を非常に重要視するからである。

・浄土について

浄土とは、仏様が治める国のことである。仏様の数だけ浄土があり、阿弥陀如来は、「極楽浄土」という国の教主である。極楽とは、実は沢山ある浄土の内の一つなのである。そして極楽浄土は西方の遙か彼方にあるされている。

・ご利益について

阿弥陀如来は静かな仏様である。この世の真理を正しく見通す智慧（みよつかんざつち 妙観察智）を、深い禅定の中で獲得されており、そしてその智慧は、我々凡夫にも等しく備わり、そして開発出来ることを教えて下さっているのである。

・縁日

毎月十五日

・真言

オン アミリタ テイゼイ カラ ウン